

な か ま

福岡県知的障害者施設保護者会連合会 会報

発行
福岡県知的障害者
施設保護者会連合会
(略称：福施連)

編集
広報委員会

〒812-0854
福岡市博多区東月隈
3-1-4-106
☎/FAX(092)503-0579

共催 福岡県知的障害者福祉協会 後援 NPO法人人権オンブズ福岡

「実現させよう！終の住処」

初の全員参加型シンポジウム 153名

9月14日 春日市クローバーホール

研修会

全施連副理事長 南守氏が総合司会を務められ、シンポジストは、福祉協会会長 長木高德典氏、同理事 芦馬謙二氏、人権オンブズ福岡代表 小賀久氏、有明ホーム保護者 橋本久恵氏、玄海はまゆう学園保護者 小川久美子氏でした。まず、保護者の方々が話され、各シンポジストからの見解を聞きました。

▼橋本氏は、56歳の長男が精神科への入院を繰り返して、病状が悪化、親の見守りも年とともに負担が大きくなり、心身ともボロボロになってしまいました。

施設では適度の運動・リズム体操・気持ちが安らぐ音楽などを取り入れて、心豊かな生活をさせて欲しい。そして施設での看取り・葬式までを願っていますとのことでした。

▼小川氏の場合は、現在46歳の長男が3歳でハシカから脳炎になり、重い障害が残りました。親として悩み続けた時、この子の今からの人生の道を一緒に耕していこうと覚悟しました。

18年前、比較的用户者が若い施設に入所させましたが、利用者の高齢化・病気の介護などの問題を、今保護者会は抱えています。利用者が入院した時、介護の手伝いをするサポートママの組織を運営しています。今後は福祉と医療の一体的運営が出来る施設になるよう願っていますと話されました。



▼木高会長は利用者・保護者が抱えているいろいろな課題を福祉協会全会員へ周知徹底させ、施設がそれに充分対応していかなければと強く感じたとのことでした。

▼芦馬理事は3ヶ月以上入院の問題について、契約上はそうであっても治る見込みがあれば、保護者と施設、そして行政が話し合い、施設に戻れるように配慮している。また、みろく園(芦馬理事施設長)では看取り・葬式もしており、納骨堂も用意されているとの発言でした。

施設・保護者 力を合わせて！

▼小賀代表は、今後、福祉施設はなくなるが、障害者施設は縮小に向かうかもしれない。障害者入所施設が生き残るためには、地域と密着し利用者が死ぬまでここで暮らしたいと思う施設を目指し、努力しなければならぬ。保護者もまた、施設と腹を割って課題を十分話し合う必要があると強調されました。

最後に南副理事長は平成26年4月より、施設には、必ずしも配置医師を置かなくてもよいとなったが、今後、配置医師を置いている施設は看取りはしないとのこと。訪問医療が出来ないからです。

あじさい園(南氏施設長)は、何故、看取り・葬式をしているか、利用者は皆家族と考えているからとのことでした。今回も実りある研修会となりました。

福岡市との意見交換会

入浴介助・配置医師・利用計画・65歳問題など

8月26日福岡市障がい者支援課と昨年に続いて意見交換会を行いました。

市からは施設支援課 下川課長、在宅支援課 竹森課長他4名が出席され、福祉連から八木会長初め近隣の保護者会より17名が参加、当面の課題について話し合い、市の見解を聞きました。

(1) 入浴介助

正月・お盆休みなどの一時帰宅時に、訪問入浴介助などの居宅介護が受けられるかについて、出来ないという市の見解がありました。何故なら利用者が施設に不在中といえども、施設には報酬が全く算定されていないわけではないからとの理由でした。他の都市も調査したがほとんど同じ見解であるとのことでした。

(2) 配置医師 (嘱託医) の問題

平成 26 年 4 月から入所施設に必ずしも配置医師を置く必要はないとなっているが、福岡市内の施設ではほとんどが置いているとのことでした。

(3) サービス等利用計画

平成 27 年 4 月よりの実施となり、この計画を作成しなければ障がい福祉サービスが受けられなくなる。その作成は指定特定事業者に依頼するか、自分でセルフプラン

を作る必要がある。障がい支援区分判定期の3年ごとに作成または更新することになります。

(4) 65歳問題

自立支援給付を受けている障害者が65歳以上になると介護保険適用(障害者入所支援施設は除外)となるが、福岡市としてはサービス等

全施連社員総会

会費値上げ・組織強化のため副理事長選出

平成 26 年度の第 1 回全施連社員総会が 6 月 18 日、19 日の 2 日間、新大阪で開催されました。

由岐理事長は挨拶のなかで「権利条約は批准されて、差別解消法もでき、障害程度区分も支援区分へと変更が進んでいるが依然として問題が多く、国内法はまだまだ十分。

社会福祉法人のあり方検討委員会では非課税であることやおかしいなど議論がでており、施設運営がより厳しくなる方向へ進むものとしている。値上げされた消費税も福祉には回らず、大企業の法人税は逆に減税されている」との情勢報告がありました。議事は、経過報告をした後3年にわたつ

利用計画をみて判定していく。障害者が路頭に迷う事はさせないとのことでした。

(5) 福祉長期計画

市としては平成 27 年 4 月から 3 ケ年計画について審議会を作り現在作成中。公募の上面接をして委員を決定しているとのことでした。福祉連からも委員を選定するよう強く要望しました。

今回は白熱した活発な議論が交わされ、有意義な意見交換会となりました。

全施連社員総会

会費値上げ・組織強化のため副理事長選出

て議論されてきた会費値上げ案が出ました。各支部も時間をかけて議論しその必要性への理解が浸透して、当初のような厳しい意見もなく決定されました。これによって本部収入は倍増され三役の活動費も改善されるということです。

今年度の活動方針は、サービス等利用計画・介護保険との統合を議論む65歳介護保険優先の問題・配置医師問題・支援区分問題などを全会員が一体のものとして活動を進めることが承認されました。そのために全会員に問題を周知徹底させる幹部育成の必要から、各ブロックで学習会開催の要請がありました。その他組織拡大などの懸案を進めるため

各ブロックから副理事長4名を理事長指名で選出することも承認して総会を終わりで、前期の各項目を南副理事長から説明を受けて、出席の理事一同の学習会を翌日の正午まで行い、散会しました。

★全施連九州協議会★

平成 26 年 7 月 16 日、17 日、二日市温泉「大観荘」で第 8 回全施連九州協議会が沖繩を除く 7 県 23 名の出席で開催されました。昨年の宮崎での会議で、各県の代表者 2、3 名の参加で全施連の活動方針を進めていく協議会とすることとし、今回は福岡県が幹事県でした。

各県の活動報告後、今後の活動の在り方等、活発な質疑・意見交換を行い、九州ブロックの意思統一を図って次の事項を決定しました。

(1)九州ブロックからの副理事長選出は 由岐理事長に一任

(2)九州ブロック学習会を福岡県で

9月13日、14日実施

(3)九州協議会の年度別開催県の決定

★続いて学習会も★

前記の九州ブロック学習会がクローバープラザで行われました。全施連の南副理事長を講師に迎え、長崎・沖繩を除く6県 23 名の出席でした。

サービス等利用計画、65歳問題、配置医師問題等熱心に学習した2日間でした。

定期総会

—平成26年度第1回—

5月25日、クローバープラザにて、福祉連加入団体28団体中25団体、個人会員数名の参加で開催されました。

八木会長は、今年度最大の出来事は、昨年12月4日に国連障害者権利条約が国会で批准されたことです。国連加盟国193ヶ国で141番目とは驚くべきです。世界第3位を誇るGDPに比べ社会的に人権思想の低さを表していると挨拶がありました。

議長・書記選出後議題に入りました。

(1)平成25年度活動方針7項目の成果と反省があり、◎行政機関・議会への陳情と意見交換会は各市町の住民である保護者の働きかけがなければ、実施が不可能であることを再認識すべきです。行政対策 奥委員長は25年4月から翌年3月末まで、52回議会・議員訪問実績があり、また福岡県では、北九州市議会で全施連統一請願書が全国で初めて採択されました。◎組織の拡大・強化では清浄学園グループホーム120名が入所施設の家族会に合流し、福祉連へ加入を決定しました。

- (2)平成25年度会計報告並びに監査報告
 - (3)平成26年度活動計画案
 - (4)平成26年度予算案
- 各議題いずれも審議承認決定されました。

第一回理事会

全議案承認 平成26年度

平成26年8月3日、クローバープラザにて21団体が参加、開催されました。

初めに、八木会長から直近の情勢報告があり、先に政府が閣議決定した集団的自衛権行使容認は福祉にとっても大変問題がある。いわゆる「大砲とバタ」は両立しないの諺のとおり、平和でなければ福祉予算(バタ)は削られ、我が子らの暮らしかけがなく、私たち自身の老人福祉も不安が強まると強い懸念が示されました。

報告事項として、奥副会長から全施連第3回社員総会及び全施連九州協議会の報告があり、この総会で決まった各ブロック別学習会開催の内、九州ブロック学習会を9月の研修会とセットで行う日程と各県出席者割振り等の説明がありました。

小田部副会長から、福祉協会との意見交換会を行い、9月の研修会を共催すること、また、NPO法人人権オンブズ福岡の後援をえて、テーマ「実現させよう終の住処」とし、シンポジウム形式で行うとの報告が

ありました。協議事項に入り

- (1)8月26日福岡市障がい者支援課との意見交換会への出席者15名の人選と、テーマとして入浴介助支援、配置医師問題、65歳問題、サービス等利用計画などとする
- (2)アンケート集計を今月末までに、配布数と回答数、回答内容を報告する
- (3)各市町村議会各会派議員との意見交換会設定のための情報提供要請
- (4)愛知県全国大会参加保護者会と人数を報告する

最後に各常任委員会に分散しての討議と結果報告があり閉会しました。

利用者・保護者の高齢化による

アンケート報告

加入保護者会で我が子らの行く末についてアンケートを実施しました。結果は次の通りとおります。

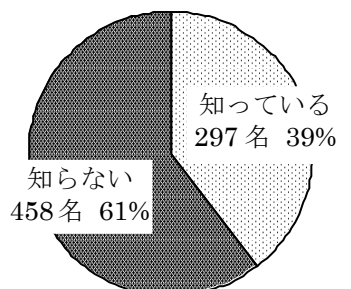
初めてのアンケートのため、問いかげの項目が適切だったかは別として今後の活動の参考になる結果が得られました。

会員28団体 返信25団体 回収率89%

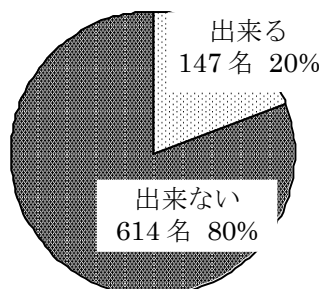
(個人会員7名 返信2名)

各保護者会1156名送付 返信755名 回収率65% (複数回答あり)

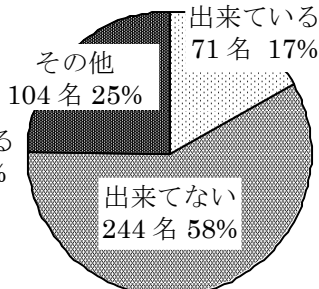
★入院3ヶ月以上で退所させられたか



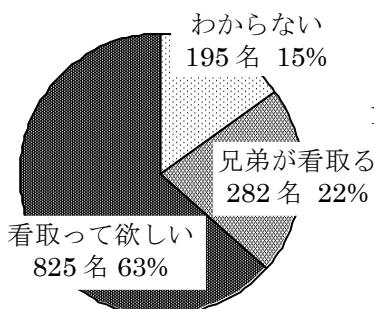
★長期入院や重い病気の時付き添えますか



★付添いや葬儀費用は用意できていますか



★施設での看取りを希望されますか



施設保護者会紹介

学正会 健康荘

「柳川に在るけど、川下りをして、セイロ蒸しを食べたのは初めて」柳川市金納にある知的障害者支援施設・学正会健康荘の入所者 61 名は 5 月 31 日柳川市の掘割で、川下りを楽しみ、うなぎ屋本店で、うなぎのセイロ蒸しを堪能しました。

この催しは、家族会が毎年一回のバスハイクに変えて行ったもので、家族会のおもな活動の一つです。家族会は入所者すべての保護者と結成されていますが、川下りに参加した保護者はわずか 3 人でした。当日は、午前 10 時過ぎに迎えるバスで



川下りを楽しむ園生と保護者

舟着場まで行き、8 隻の舟に乗り、約 2 キロを 1 時間かけて「御花前」まで行き、昼食、午後 3 時ごろ健康荘に帰りました。どの施設でも同じようですが、家族会会員の高齢化、参加人員の減少に悩んでいます。一昨年までは年末に年忘れ会をかねた懇親会を開き意見交換をしていましたが、参加者が少なくなり、取りやめになっています。玄海はまゆの保護者会は、入所者の入院に、会員相互の介護システムを作られていくそうですが、こうした取り組みについても、会員の意見を聞きながら考えていきたいと思えます。

自慢商品

周防学園 ドレッシング

太陽の恵みで育てた周防学園の野菜は、採れたて新鮮で地元の道の駅「おこしかけ」や「JAふれあい」でもすぐに売り切れてしまうほどの人気があります。

そのおいしい野菜をもっと沢山の方々に食べてもらおうと考え、ドレッシング作りに取り組みました。

玉ねぎをふんだんに使用した和風味とゴマ入り、少し甘めのみかんドレッシングは、「おこしかけ」でも一押しの人気商品で購入していただいた方より「おいしかったよ」と嬉しい言葉をかけて頂きました。

是非一度ご賞味ください。

福祉商品紹介 蓮の実園

ポテイタオル

このポテイタオルは(株)山桜で、販売している製品で袋詰め作業を蓮の実園作業班で 6 月から始めました。

ポリエステルを二重にしたもので、少量の石鹸で泡立ち、赤ちゃんの沐浴や肌の弱い方、高齢者にも肌当たりも優しく、泡切れも少量の水で落ちる優れた物のエコ商品。

園生や職員も使用し、大好評！一年以上の耐久性があります。



価格 L 800 円
M 600 円
S 400 円
問合先 蓮の実園
☎ 0943-54-3123



和風・ゴマ入り・みかん 各 400 円
問合先 周防学園 ☎ 0979-82-4619

研修会に参加して思ったこと

周防学園 周防の会 日浅幸子

まず、病気で入院が 3 ヶ月過ぎると施設を出なければならぬのが一応の決まりであります。施設と保護者との話し合いで融通がきくと聞いて私達親もひと安心しました。

次に配置医師がいる施設では他の病院から断られることがあります。これは現実です。そうなる私達の子供はどうなるのかなかあと心配です。

出来れば施設にいて手厚い介護を受けることが出来ないものと願っています。

これからも子供たちの福祉向上のため親からの発言を多く出さなければと思いましたが。

編集後記

二週間余り入院して気になる言葉が耳に残った。看護師の手当ての度に高齢女性患者は「すみません」と言っている。病気になるったり、障害を持つても悪いことをしているわけではないのに何故「有難う」ではなく「すみません」とお詫言言葉を口にすののだろうか。

医療を受けている患者も障害者も健康になり、幸福になる権利がある。「すみません」ではなく「有難う」の前向き感謝言葉が適切に思えるのである。

聞く側も耳に快い言葉だろう。T・Y